科目名	実践基盤看護学課題研究Ⅲ Special Research Ⅲ in Practice foundationNursing	担当教員 (研究室番号)	未定	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	課題研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	実践基盤看護学分野の、臨地指導実習をとおして得られた臨地教育における特定の課題について、研究的手法を用いて解決・探求した結果を論文にまとめることで、臨地における教育・研究能力を養う。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	６．看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。
	関連するDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育及び実践看護学に関する課題を追求していける研究能力を身につけている。
到達目標	１．得られた結果を整理して図や表等により提示することができる。 ２．分析した結果を考察し、課題論文としてまとめることができる。 ３．課題論文としてまとめた内容を学内の論文発表会で報告し、質疑に応答することができる。	

成績評価方法 (基準)	課題論文（80%）、論文発表会での発表(20%)
教科書	特に指定しない。
参考書等	必要時に提示する。
受講者への メッセージ	
備考	論文審査および最終試験に申請し、この合格をもって本科目の単位修得とする。

学　習　内　容

【到達目標１について】
・得られた結果を分析し、結果を導き出す。
・結果については、必要に応じて図や表を作成する。作成にあたっては第三者からも理解できる内容にするように努める。

【到達目標２について】
・文献をもとに結果を考察し、明解で一貫性のある課題論文としてまとめる。

【到達目標３について】
・課題論文をもとに学内で発表する内容をパワーポイントの資料として作成する。資料中に用いる図や表などは発表会に適した様式に修正する。

【各到達目標の共通事項】
・結果の分析や論文作成の過程では、論文指導教員等から指導や助言を受けながらより完成度の高いものにしていく。